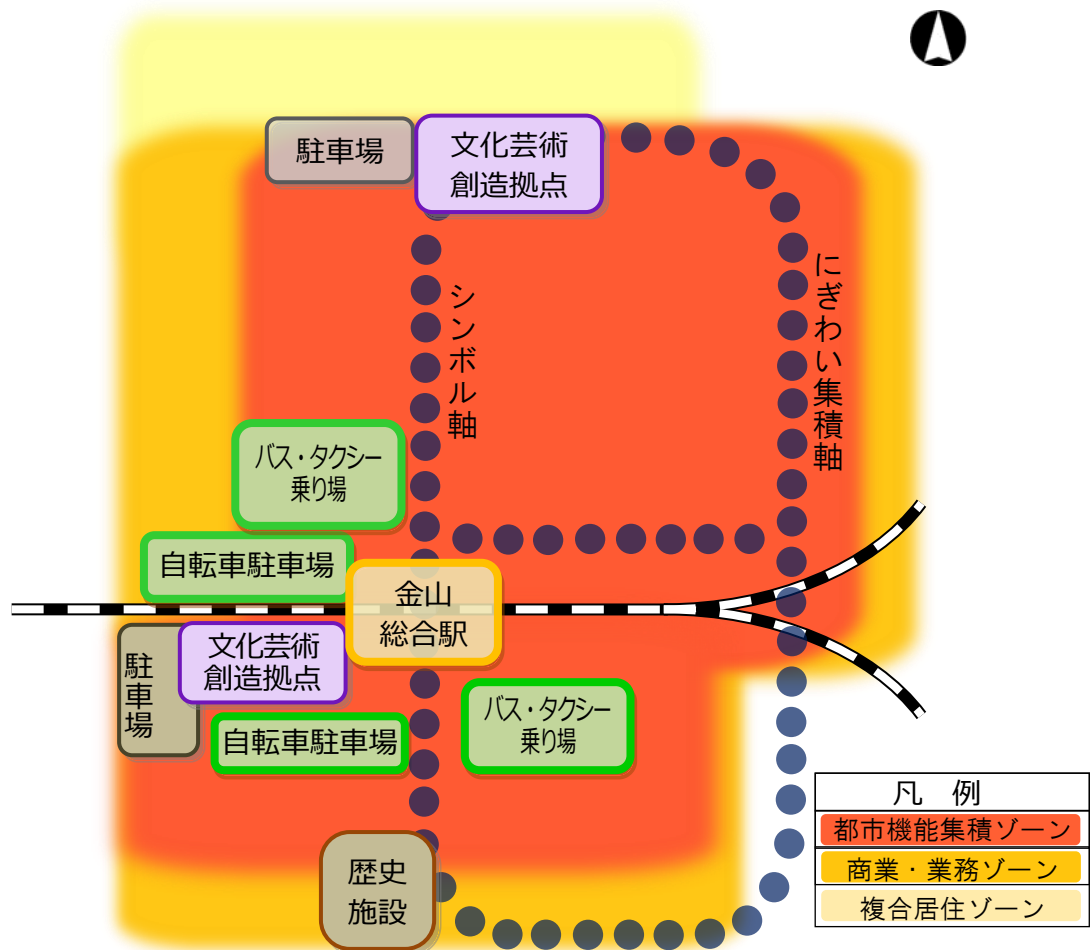


5 施設配置イメージ

(1) 歩行者

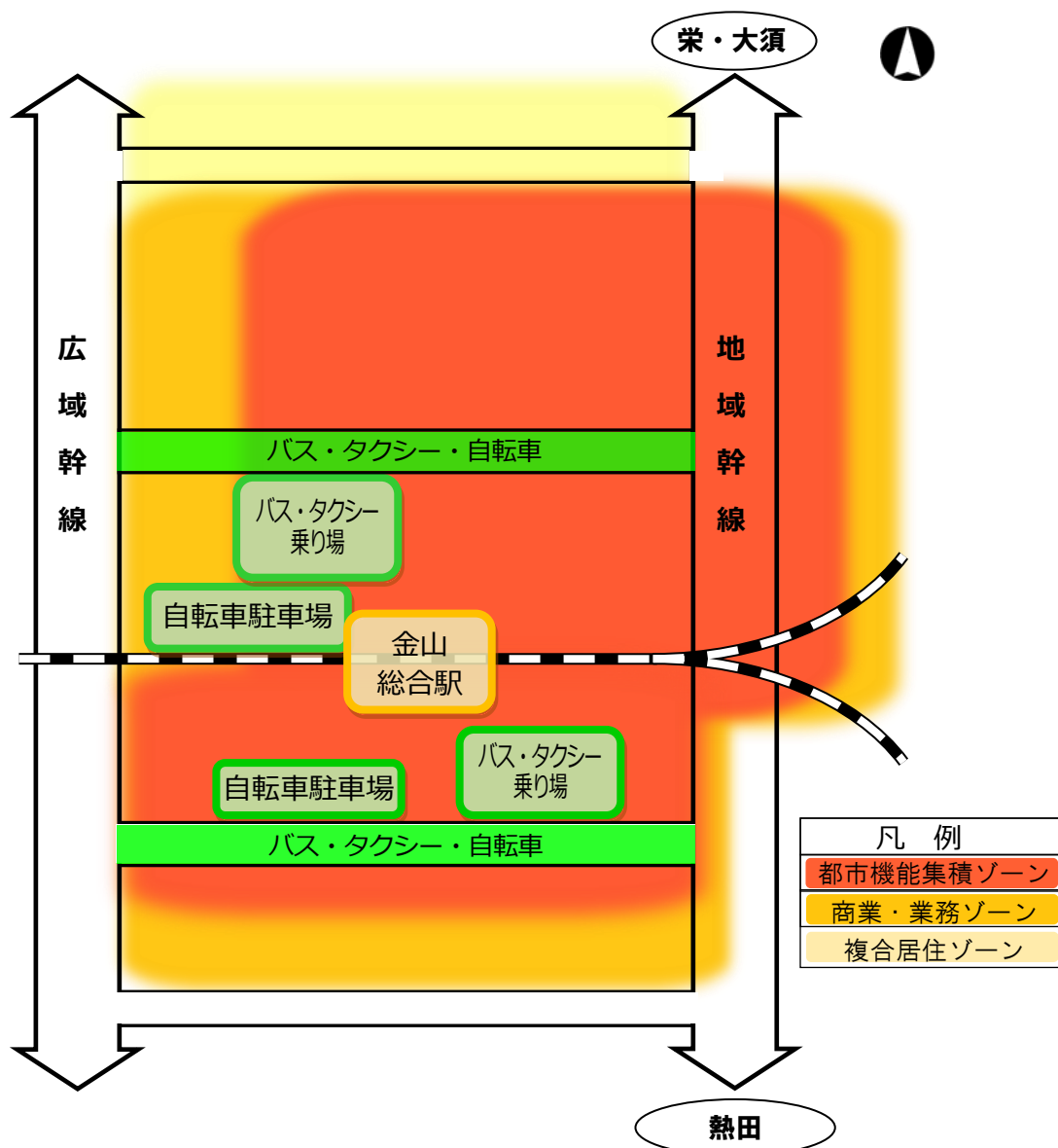
歩行者については、金山総合駅を通り、南北の文化芸術創造拠点、歴史施設を結ぶ新たなメインストリートであるシンボル軸と、現在商業等が集積している大津通沿線（にぎわい集積軸）を中心に、地域内の回遊性を向上させます。





種別	凡例	概要
歩行者	● ● ● ●	シンボル軸とにぎわい集積軸を中心として地域内の回遊性を高めます。

(2) 車両 (バス・タクシー・自転車)

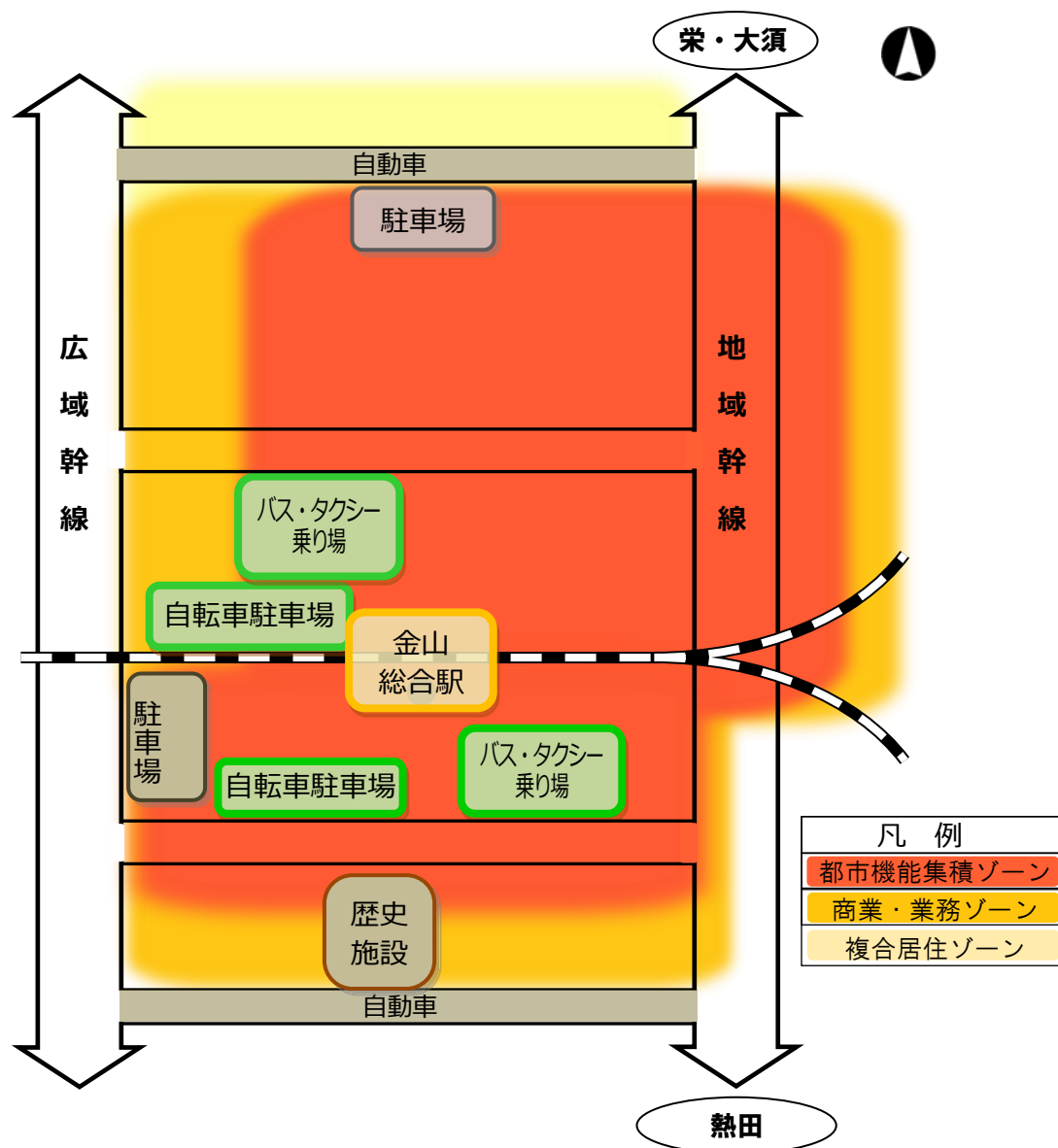
車両 (バス・タクシー・自転車) については、利便性の高い駅直近に公共交通及び自転車駐車場等の結節点を配置し、同時に、バスターミナルとの接続路になる駅北側の東西道路はバス・タクシー・自転車の快適な走行性を確保します。





種別	凡例	概要
バス・タクシー・自転車	 	駅直近に乗り場や自転車駐車場を設置し、鉄道からの乗り換え利便性を高める。

(3) 車両（自動車）

自動車については、地域内への通過交通をできる限り抑制するため、地域の外縁に主な動線を設定します。



種別	凡例	概要
自動車	 	地域の外縁に主な動線を設定する。

6 公共施設等データ

(1) 金山南ビル

名称	金山南ビル		
竣工	1999（平成 11）年 3 月		
敷地面積	4,604.59 m ²	延床面積	61,098.79 m ²
建築面積	3,410.31 m ²	階数	地上 31 階、地下 4 階
高さ	134.50m	駐車場	347 台
構造	鉄骨造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造）	用途	ホテル・店舗・事務所・美術館・駐車場
事業費	約 226 億円		
事業主体	（公財）名古屋まちづくり公社、名古屋市		
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> 金山総合駅の供用に続く、地区開発の先導的プロジェクトとして開発された、地区のシンボル、ランドマークとなる超高層複合ビル。開発にあたっては、復興土地区画整理事業で生み出された土地を活用し、名古屋都市整備公社（現名古屋まちづくり公社）、名古屋都市センター（同）との共同による開発提案競技を経て整備が行われた。まちづくりの交流拠点となる「名古屋都市センター」、世界的に著名なボストン美術館の専用展示館である「名古屋ボストン美術館」、グレードの高いホテル（ANA クラウンプラザホテルグランコート名古屋）及び公共駐車場から構成されている。 1 階には大規模な屋内公開空地（インターコモン）を配置。イベントなどが開催されている。 ビル供用部管理、金山南駐車場（都市計画駐車場）の管理運営は（公財）名古屋まちづくり公社。 		
	 <p>外観</p>	 <p>フロア構成</p>	

(2) 市民会館

名称	名古屋市民会館（日本特殊陶業市民会館）		
開館	1972（昭和47）年10月		
管理運営者	（指定管理者）		
敷地面積	14,205.13 m ²	延床面積	28,245.09 m ²
建築面積	9,370.48 m ²	階数	地上6階、地下2階
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	所有形態	市所有
建設費	5,649,379千円		
管理形態	指定管理（利用料金制）	開館時間	午前9時～午後9時30分
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・オーケストラの演奏に適した大ホールと舞踊、演劇、室内楽等多目的に利用できる中ホール等を備えている施設。音楽だけでなく、舞踏、美術館系等幅広い分野で利用されている。 ・フォレストホール（大ホール）：2,291席（4階層） ビレッジホール（中ホール）：1,146席（2階層） 第一リハーサル室、第二リハーサル室、楽屋 第一会議室、第二会議室、特別会議室 ・音響家が選ぶ優良ホール100選（日本音響家協会）。全国2500施設の中から選定。県内では他に稲沢、春日井、長久手文化の家、名市北文化小劇場が選定。 ・ネーミングライツを実施（2007（平成19）年～中京大学、2012（平成24）年～日本特殊陶業） ・地下通路で金山駅、古沢公園駐車場と結節。 ・築40年以上が経過し、施設の各設備の老朽化が進んでいる。 		
			
	外観	大ホール	
			
	中ホール	リハーサル室	

(3) アスナル金山

名称	アスナル金山		
開業日	2005（平成17）年3月10日		
施設管理者	公益財団法人名古屋まちづくり公社		
敷地面積	14,200 m ²	延床面積	29,000 m ²
階数	地上4階	商業施設面積	8,700 m ²
店舗数	約60店	駐車場	駐車場（収容台数197台）、駐輪場
事業費	約4,235百万円		
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> 金山総合駅北口にある複合商業施設。「明日なる!金山」や「ASUNAL 金山」などとも呼ばれている。 戦災復興計画の用地として名古屋市が戦後すぐから確保してきた用地の一部を用いて、金山北地区開発の一環として、名古屋都市整備公社（現：まちづくり公社）が名古屋市からとして15年限定の事業用定借（2020（平成32）年3月までの期限）で土地を借り受け、一部の公道を撤去して建設され、2005年（平成17年）3月10日に開業した。 施設は、商業施設と広場からなる「交流の場」と、バスやタクシー乗降場・駐車場からなる「交通ターミナル施設」からなっている。ハートビル法認定。 商業施設は衣料雑貨、飲食店を中心に構成され、20～30代の女性を中心にニューファミリーなど幅広い層が来館。1階中央にはアスナル広場と呼ばれる屋外ステージ（収容人数最大7,000人）があり、音楽ライブやショー、プロモーション、ラジオ収録など様々なイベントが平日土日とも開催されている。使用料金は平日前日20万円、土日祝日全日30万円など。 北側壁面には「エコカーテン」と呼ばれる壁面風車が設置されており、これが発電し蓄電された電気を夜間のライトアップなどに使用。 かつてはアスナルホール（多目的ホール、面積300m²、座席数は299席）があり、有料イベントに使用されたが、2012（平成24）年3月31日を以って閉館。 大規模な地震など災害による断水に備える為、名古屋市上下水道局が応急給水施設を「アスナル金山」建物西側に設置。 		
			
	外観		アスナルホール（閉館）

(4) 古沢公園

名称	古沢公園	
種別	街区公園	
面積	0.52ha	
都市計画決定	1954（昭和29）年	
開設	1955（昭和30）年	
内容	<ul style="list-style-type: none"> 地下に市営都市計画駐車場（古沢公園駐車場） 	
		
		
	噴水	水飲み場
		
		
		主な遊具

(5) 古沢公園駐車場

名称	古沢公園駐車場
形式	自走式、地下2階
規模	建築延面積 8,860 m ² (地下1階・2階各 4,137 m ² 、連絡通路その他 586 m ²)
収容台数	249台 (うち、自動二輪専用6台)、無料EVスタンド1台
供用開始	1972 (昭和47) 年10月1日
管理運営者	(指定管理者)
内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>地下1階</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>市民会館への連絡通路</p> </div> </div>

(6) 音楽プラザ

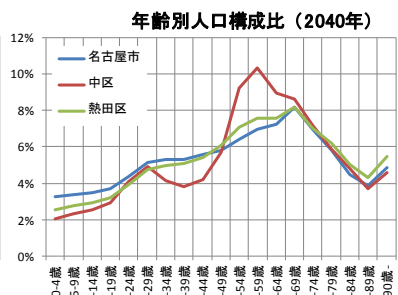
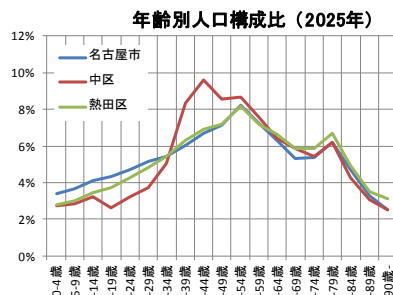
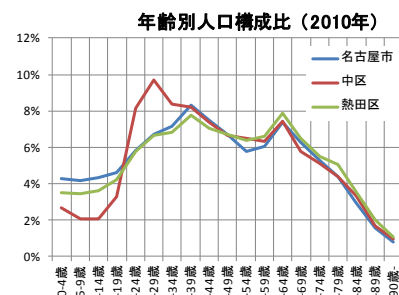
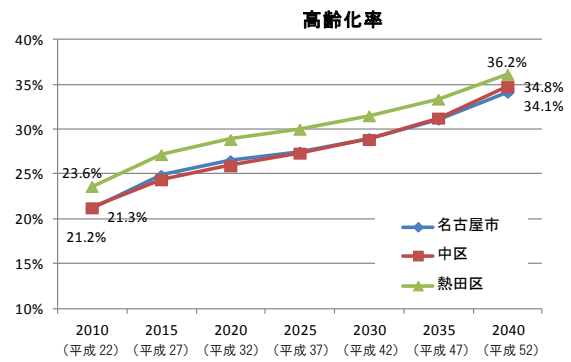
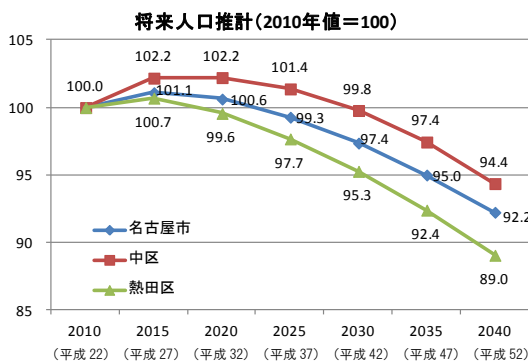
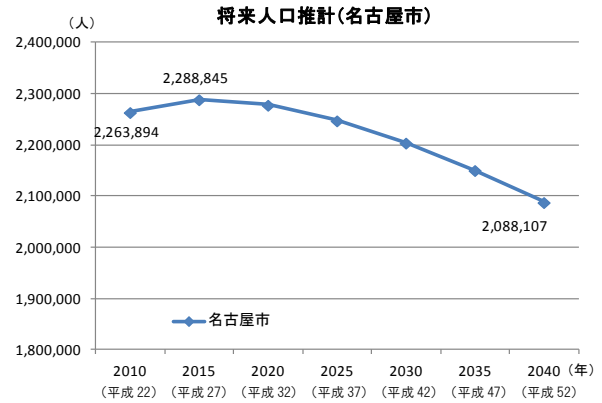
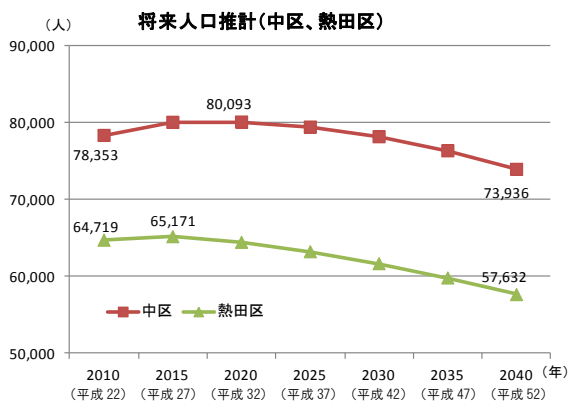
名称	名古屋市音楽プラザ		
開館	1997（平成9）年		
管理運営者	（指定管理者）		
敷地面積	1,431.75 m ²	延床面積	6,499.77 m ²
建築面積	1,131.99 m ²	階数	地上6階、地下1階
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	所有形態	市所有
建設費	3,819,861千円		
管理形態	指定管理（利用料金制）	開館時間	午前9時～午後9時30分
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・建屋内には合奏場と大中2つのリハーサル室、2つの控え室を備えており、音楽やダンスの練習などに使われるほか、1階のサロンでは無料で鑑賞できるコンサートが毎月催されている。 ・名古屋フィルハーモニー交響楽団の事務局も置かれており、その練習場としても使用されている。一般にも借りることが出来る。グランドピアノやアップライトピアノの他にミキサーやアンプ、デッキなどの施設も充実している。 		
			
	外観	合奏場	
			
	大リハーサル室	音楽サロン	

7 各種データ

(1) 人口データ (将来、昼夜比率)

① 将来人口推計

金山地区を含む中区、熱田区の将来人口推計（国立社会保障・人口問題研究所、コーホート要因法による推計）では、中区は2020（平成32）年をピークに減少、熱田区・名古屋市全体は2015（平成27）年をピークに減少することが予測されています。減少率は2010（平成22）年比で中区約5%、熱田区約11%となっています。高齢化率は年々上昇し、2040（平成52）年には35%前後となると予想されています。年齢別人口構成比をみると、中区は2010（平成22）年では20～30歳代の若年層に人口が偏っているため、将来高齢化が急に進むことが予想されます。熱田区は名古屋市全体と同じような傾向にあり、中区より年代による偏りは小さく、徐々に高齢化にシフトしていきます。



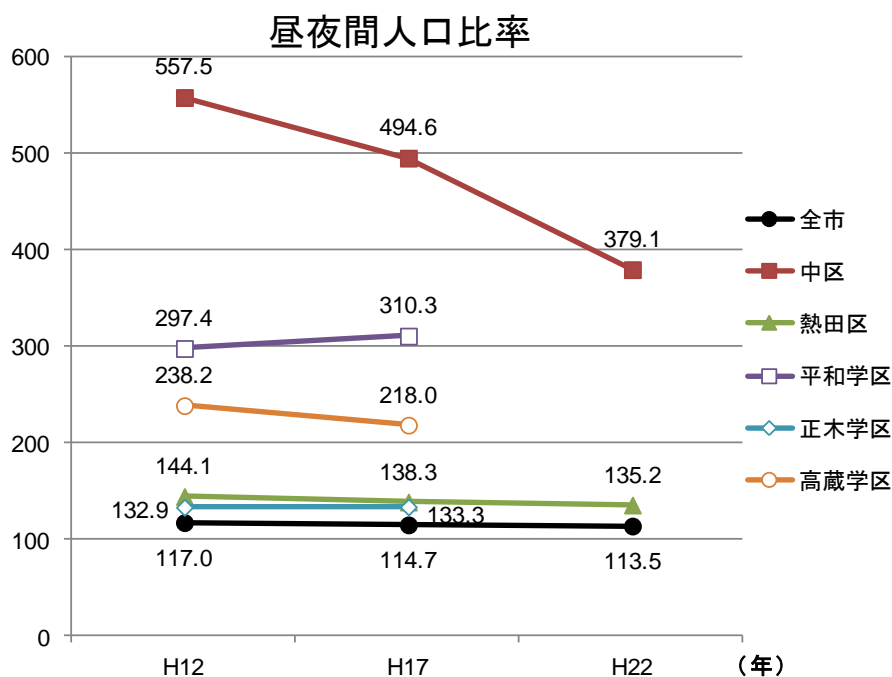
出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」2013（平成25）年3月推計
推計方法：2010（平成22）国勢調査人口を基準としたコーホート要因法により推計

<解説>

○コーホート要因法…男女・5歳年齢別人口を基準として、5年間の生残率、純移動率、出生率および出生性比に関する仮定値を用いて、人口推計する方法。

②昼夜間人口比率

金山地区を含む3学区の昼夜間人口比率は、2005（平成17）年時点で駅北東側の平和学区が310.3と最も高く、昼間人口は夜間人口の約3倍となっています。次いで駅南側の高蔵学区218.0、駅北西側の正木学区133.3となっています。いずれも全市平均よりも高いですが、中区平均よりは低くなっています。金山地域内でも学区によって性格が異なり、平和学区がもっとも従業地・通学地の性格が強く、高蔵学区は居住中心となっています。



年	対象	夜間人口(人)	昼間人口(人)	昼夜間人口比率
H22	全市	2,263,894	2,569,376	113.5
H17	全市	2,193,973	2,516,196	114.7
H12	全市	2,148,949	2,514,549	117.0

年	対象	夜間人口(人)	昼間人口(人)	昼夜間人口比率
H22	中区	78,353	297,039	379.1
	熱田区	64,719	87,530	135.2
H17	中区	65,701	324,987	494.6
	熱田区	63,272	87,531	138.3
H12	中区	59,409	331,186	557.5
	熱田区	62,063	89,426	144.1

年	対象	夜間人口(人)	昼間人口(人)	昼夜間人口比率
H17	平和学区	6,004	18,628	310.3
	正木学区	6,135	8,176	133.3
	高蔵学区	8,340	18,183	218.0
	合計	20,479	44,987	219.7
H12	平和学区	6,062	18,029	297.4
	正木学区	5,303	7,047	132.9
	高蔵学区	7,492	17,846	238.2
	合計	18,857	42,922	227.6

(資料：国勢調査)

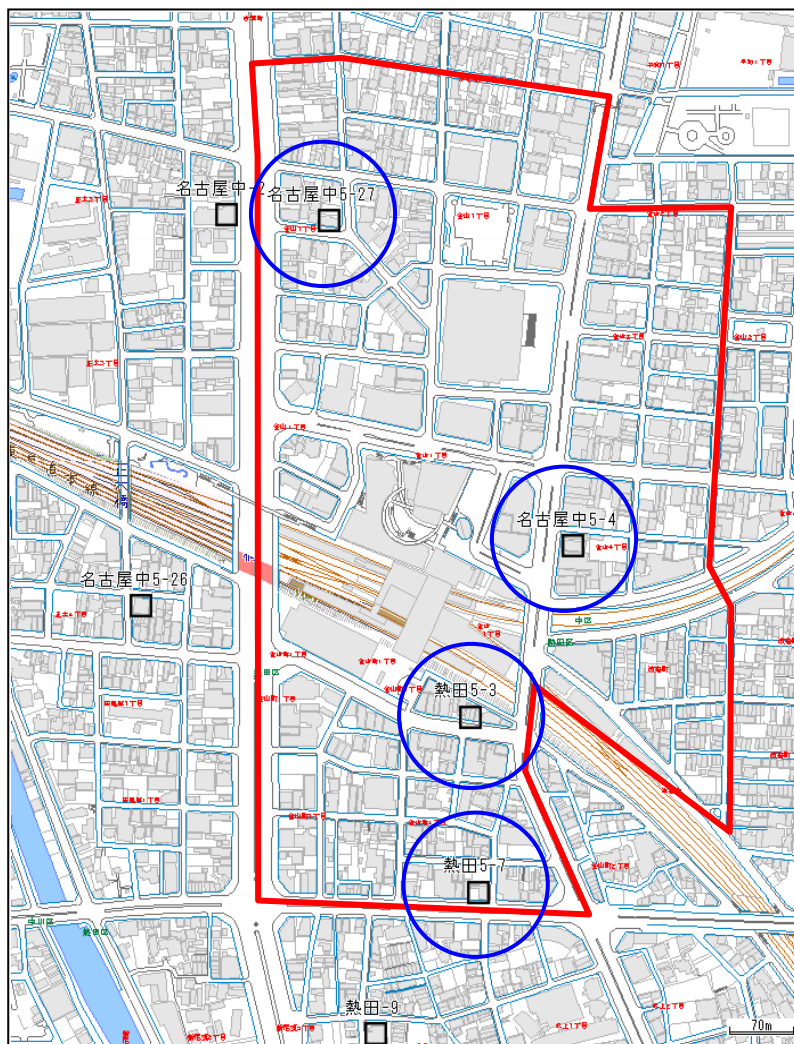
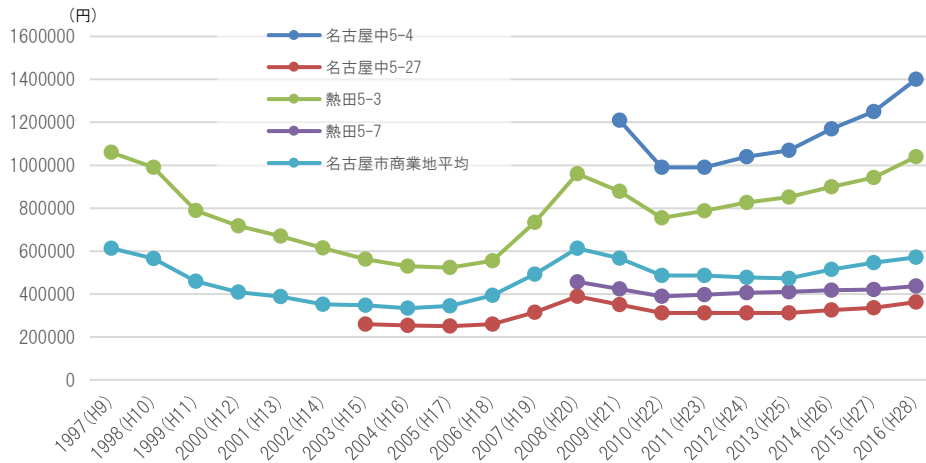
※2005（平成17）年の国勢調査までは、名古屋市独自で学区別の昼間人口を推計していたが、2010（平成22）年の国勢調査からは推計していない。

(2) 地価動向

公示地価の推移をみると、2010（平成22）年以降、駅近隣2地点における地価上昇は著しく、市商業地平均よりも上昇率が大きくなっています。一方、駅から離れた2地点では市平均と同じような傾向にあり、ほぼ横ばいで推移しています。

①金山地域の公示地価の推移

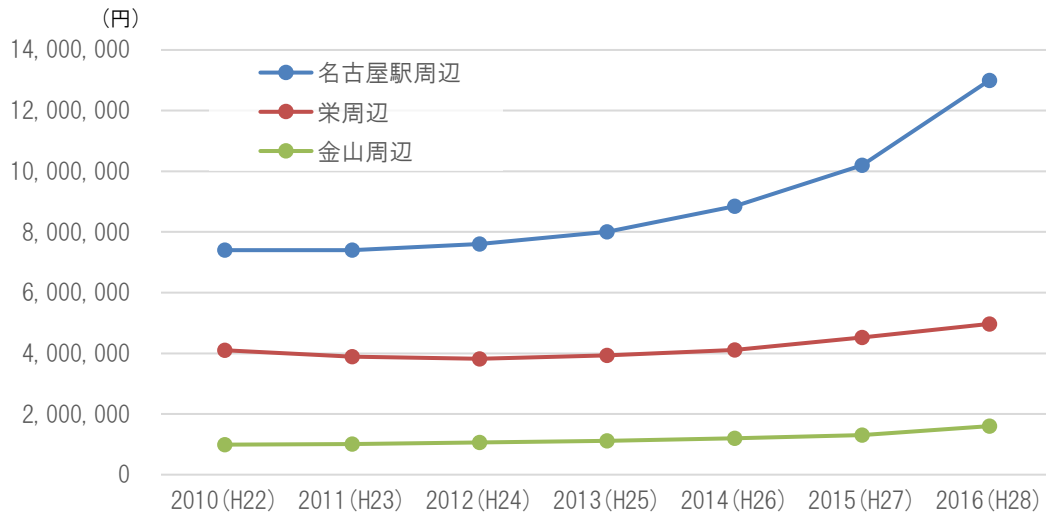
<公示地価の推移>



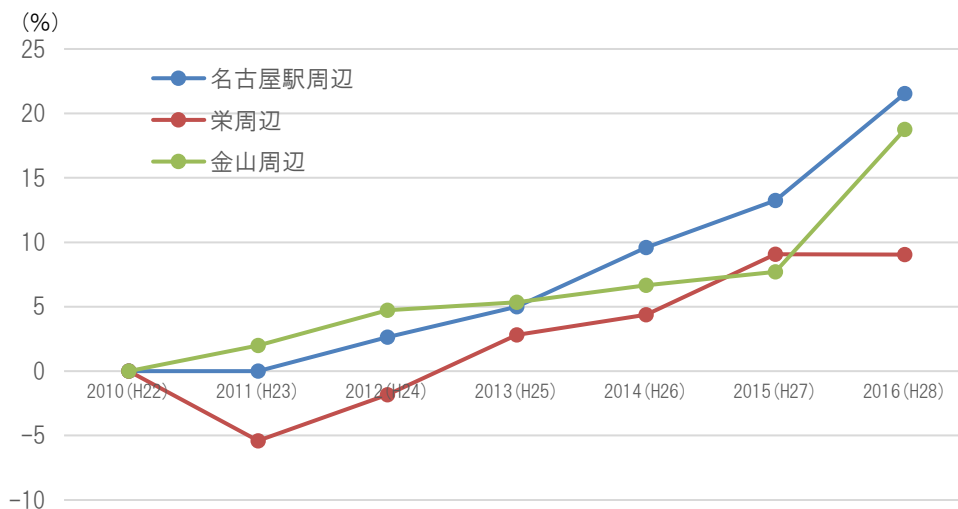
②他地域との比較

ア 名駅、栄、金山における、地域の最高価格の推移（価格）

地域内の最高価格の推移は、金山地域は名駅の約10分の1、栄の約5分の1となっています。今後は、更にこの差が広がるものと想定されています。



3地域とも同じようなトレンドを示しています。金山地域は他の地域と比べて変動が少ない傾向にあります。



価格（円/㎡）

	2010 平成22年	2011 平成23年	2012 平成24年	2013 平成25年	2014 平成26年	2015 平成27年	2016 平成28年
名駅	7,400,000	7,400,000	7,600,000	8,000,000	8,850,000	10,200,000	13,000,000
栄	4,100,000	3,890,000	3,820,000	3,930,000	4,110,000	4,520,000	4,970,000
金山	990,000	1,010,000	1,060,000	1,120,000	1,200,000	1,300,000	1,600,000

※地域の最高価格の比較としたため、名古屋市内の最高価格が示されている地価調査の値で比較した。

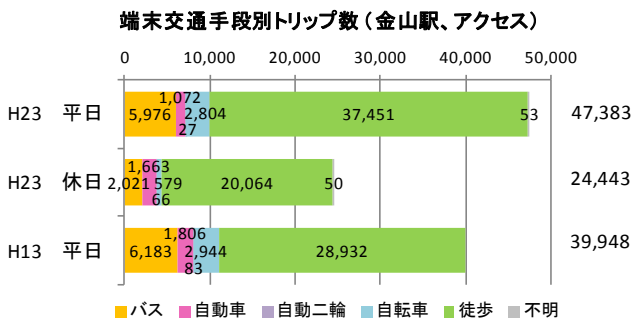
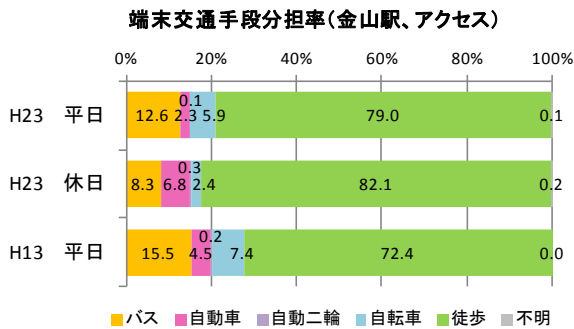
(3) パーソントリップデータ

金山駅利用者のアクセス、イグレスの状況をみると、2001（平成 13）年から 2011（平成 23）年で平日トリップ数（愛知県在住者）が約 18%増加し、1 日あたり約 4.7 万トリップとなっている。また、休日のトリップ数は、平日の約半分（51.6%）に減少している。

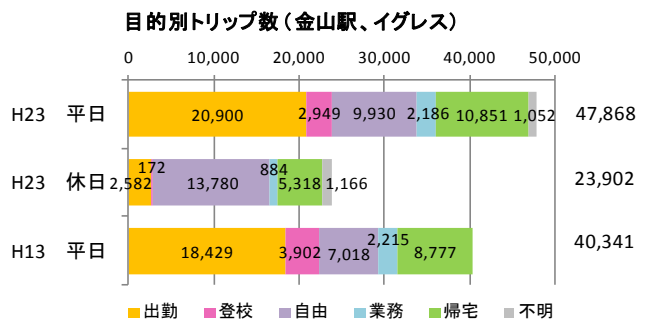
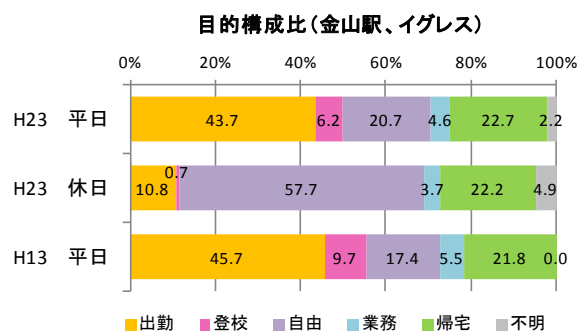
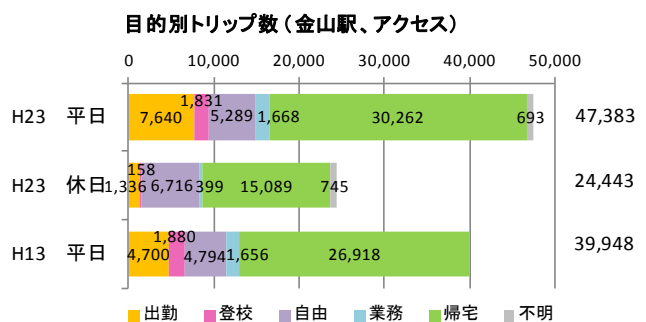
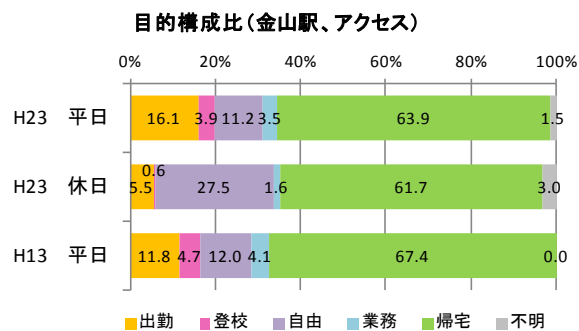
端末交通手段別にみると、駅へのアクセスは、徒歩が 10 年で 1.3 倍に増えており、徒歩圏内の居住者の増加などの結果と考えられる。一方、バス、自転車によるアクセスはほぼ横ばいで推移、自動車アクセスは 4 割程度減少している。

目的別にみると、駅へのアクセスでは帰宅利用が約 63%増加、出勤利用が約 12%増加し、イグレスでも出勤が約 13%の増加、帰宅が約 24%増加しており、これらは駅周辺での従業者と居住者が増加した結果と考えられる。また、イグレスでは買い物などの自由目的が約 42%の増加と大きく伸びており、2005（平成 17）年に開業したアスナル金山の効果が現れているのではないかと考えられる。

① 鉄道駅端末交通手段

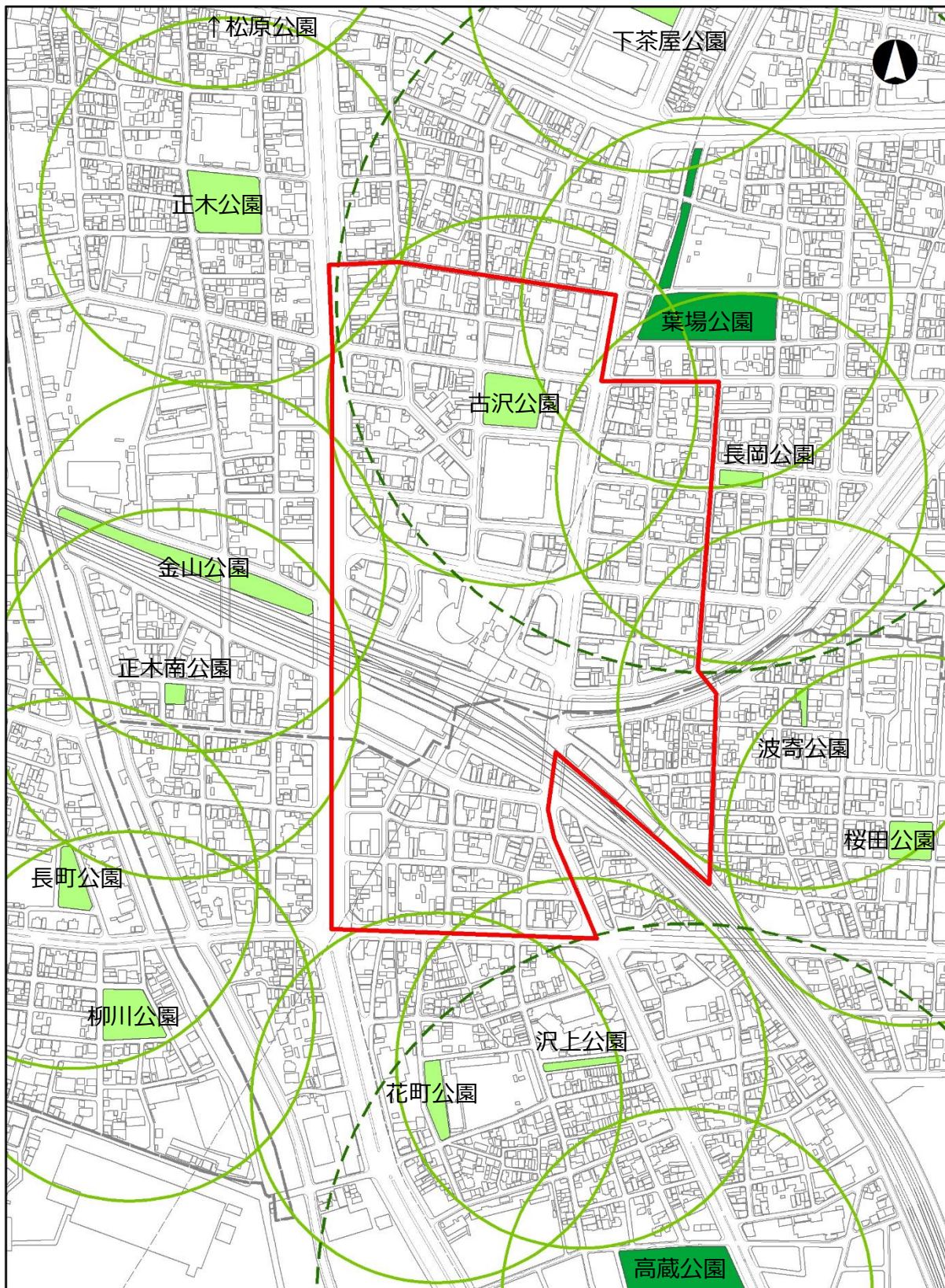


② 鉄道駅端末アクセス・イグレス目的



(資料) 中京都市圏パーソントリップ調査

(4) 街区公園からの距離



公園誘致圏 公園 金山地域

 250m(街区公園) 街区公園
 500m(近隣公園) 近隣公園

1:8,000 0 50 100 200 300 m

(5) 緑被率（全市、中区、対象エリア）

金山地区の2010（平成22）年の緑被面積は約26,000㎡、緑被率は6.3%となっています。栄駅周辺（11.5%）の約2分の1、名古屋駅東側（3.3%）の約2倍で、名古屋市全体23.3%や中区13.9%、熱田区13.6%よりも低く、緑が乏しい状況にあるといえます。なお、栄駅周辺は久屋大通公園などの大規模な都市公園があります。それでも市全体よりも緑被率は低くなっています。

2010(平成22)年の緑被の状況

種別	金山地域		栄駅周辺		名古屋駅東側		中区	熱田区	全市
	緑被面積(㎡)	緑被率	緑被面積(㎡)	緑被率	緑被面積(㎡)	緑被率	緑被率	緑被率	緑被率
高木	7,692	1.9%	23,671	5.7%	2,767	0.7%			
低木	1,193	0.3%	4,599	1.1%	1,277	0.3%			
街路樹高木	6,712	1.7%	8,978	2.2%	5,572	1.3%			
街路樹低木	1,033	0.3%	3,389	0.8%	3,584	0.9%			
芝	346	0.1%	6,199	1.5%	565	0.1%			
草	8,315	2.0%	216	0.1%	132	0.0%			
畑	374	0.1%	0	0.0%	0	0.0%			
ため池等	43	0.0%	596	0.1%	0	0.0%			
計	25,706	6.3%	47,648	11.5%	13,898	3.3%	13.9%	13.6%	23.3%
対象地区面積	405,641	-	413,809	-	417,746	-	-	-	-

(資料：緑の現況調査)

